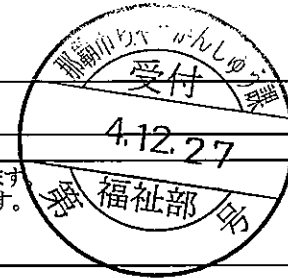


## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表 R3分



法人名	医療法人 おもと会	代表者	理事長 石井 和博	法人・事業所の 特徴	1. 職員は笑顔と元気を一番にご利用者様を支援します。 2. ご利用者様の残存能力を維持できるよう支援します。 3. ご家族の支援も大事に考え、実践しています。 4. 看護師2名配置で健康管理にも努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 すずらん	管理者	宮里 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	11 人	人	11 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見(2019年度)	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目別の課題を落とし込んだ改善計画をたてる。</li> <li>未実施のアンケートについて考える。</li> <li>職員の研修参加、伝達研修の強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート未実施。</li> <li>コロナ禍、中止となった研修会以外は研修会へ派遣できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価6・7・8の改善計画が同じになるのはおかしい。</li> <li>項目が違うので同じにならないように計画を揚げるべき。</li> <li>「次年度」と表記すべきではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施のアンケートを実施・回収(9月)、まとめ、報告(10月の運営推進会議で)</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>備え付けのアンケート(意見)ボックスの設置場所のアピールを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、外部者立ち入り禁止等で外部との交流がなくアンケートボックスの活用はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所は選べないので改善計画ではできないので、投函場所がある場所のアピールをしたら良い、できなかったことをなぜできなかったのかを考えて改善計画にたてることも可能である。</li> <li>エレベータのログクに関しては難しいラインである。利用者側の立場では開放が望ましい。利用者に対応した内容を記録に残す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、利用者のストレスが軽減できるよう事業所内の写真等や掲示物で季節感を感じてもらおう。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係自治会にパンフレット配り、事業所をアピールする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所は銘苅区の賛助会員である。</li> <li>コロナ禍、地域集会場は閉鎖している。活動制限もありパンフレット配りは中止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の集会場へ置いていないのは改善計画ができていないこと。</li> <li>平野区自治会の玄関のカウンターへ置くので持ってきて。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域からの行事の依頼があれば参加する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との関わり等は運営推進会議で報告し、議事録に残す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、令和2年度は地域との関わりがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で困っている方に関わったことに関して運営推進会議で報告した方が良い。その結果、事業所の活動内容がより見えてくる。</li> <li>相談があったら場合によっては積極的に居宅や包括を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、地域とのどのような関わりがもてるかを考え、実行したことは議事録に残す。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が運営推進会議に参加できるよう調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、外部者立ち入り禁止等で職員参加で運営推進会議を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者と一緒に短い時間でも良いので参加できるようにしたら良い。</li> <li>困っている方の事例検討のアドバイスできないことは行ってると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議での利用状況の報告、検討したことは確実に議事録に残す。</li> <li>運営推進会議後は速やかに議事録を提出する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣への案内だけでなく、地域へ訓練の日時・名簿がわかるよう案内方法を考え実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、近隣住民への案内、参加なし。法人職員のみで実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の近隣への配慮が足りないとの指摘。</li> <li>自治会も年2回の訓練実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練時には、近隣へ案内だけでなく、地域へ訓練の日時、内容がわかるよう案内方法を考え実行する。</li> </ul>